

集中治療センター(集中治療室)

1. スタッフ構成(2026年3月時点)

- 藤谷 太郎(副院長、中央病院経営改革本部長)
- 奥田 康之(入院サポートセンター長)
- 中西 和雄(麻酔科主任部長)
- 矢野 雅起(麻酔科部長、集中治療センター長、集中治療室長)
- 程野 茂樹(麻酔科部長)
- 武田 泰子(ペインクリニック内科部長)
- 品川 育代(麻酔科部長)
- 菊池 幸太郎(麻酔科部長)
- 上松 敬吾(麻酔科部長)
- 高柳 友貴(麻酔科部長)
- 佐々木 知恵(麻酔科部長)
- 和田 彰平(麻酔科医長)
- 足立 良太(麻酔科医長)
- 宮内 満里奈(麻酔科専攻医)
- 吉良 美香(麻酔科専攻医)
- 木村 奈々(看護長)
- 看護師:31名
- クラーク:1名
- 事務補助員:1名

2. 認定資格取得(2026年3月時点)

資格名	資格取得者
日本集中治療医学会集中治療専門医	矢野雅起、高柳友貴
日本専門医機構麻酔科専門医	藤谷太郎、奥田康之、中西和雄、矢野雅起、程野茂樹、武田泰子、品川育代、菊池幸太郎、佐々木知恵
日本麻酔科学会麻酔科専門医	高柳友貴
日本麻酔科学会麻酔科指導医	藤谷太郎、奥田康之、中西和雄、矢野雅起、程野茂樹、武田泰子、品川育代、菊池幸太郎、佐々木知恵
厚生労働省麻酔科標榜医	藤谷太郎、奥田康之、中西和雄、矢野雅起、程野茂樹、武田泰子、品川育代、菊池幸太郎、高柳友貴、佐々木知恵、和田彰平、足立良太、宮内満里奈、吉良美香
日本看護協会集中ケア認定看護師	中村京子
日本看護協会クリティカルケア認定看護師	越智康弘

3. 運営方針

急病や大手術のために生命が脅かされ、重症かつ不安定な病態のため集中治療を必要とする患者さんに集学的なチーム医療を提供し、患者さんの一日も早い回復と社会復帰を目指します。

4. 実績

■ ICU 入室患者収容状況(短時間入室含む)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
消化器外科	49	44	50	56	47	49	59	58	54	64	45	43	618
呼吸器外科	9	9	12	13	13	12	13	13	11	14	14	13	146
乳腺・内分泌外科			3				1	1	1	2			8
心臓血管外科	22	20	23	26	22	24	30	24	25	34	29	28	307
脳神経外科	11	15	13	10	16	10	13	11	12	13	9	13	146
泌尿器科	20	19	24	22	19	22	17	17	21	19	17	20	237
耳鼻咽喉科	2	3	1	1	1	5	1	1	1	5	1	3	25
整形外科	17	12	17	18	14	14	13	13	13	14	12	18	175
形成外科		1											1
産婦人科	2		1	1	1	1			1	2			9
消化器内科		1	2		3	1	2	1				1	11
呼吸器内科	1	3	1	2		1	3					2	13
循環器内科	12	9	16	13	12	17	13	13	7	12	5	11	140
腎臓内科	1		1	1								1	4
脳神経内科	1	1		1	1								4
血液内科								1			1		2
小児科	1		2	1	2								6
救急科			2		2			1		2	1		8
その他					1				1	1			3
合計	148	137	168	165	154	156	165	154	147	182	134	153	1,863

診療棟 4 階の手術部に隣接して集中治療センター(ICU)があります。治療ベッドは 12 床(無菌室 1 床、陰圧室 2 床含む)で、スーパーICU と称される特定集中治療室管理料 2 を取得する県内唯一の施設です。麻酔科が管理するオープン型 ICU で、麻酔科と各診療科が協働し、24 時間体制で治療にあたっています。

2025 年は 1,712 名が入室、それ以外に短時間入室患者 151 名を収容しました。入室患者の大半は、外科系の開頭、開胸、開心術や生体腎移植術等の大手術後の患者さんです。最近では、高齢者や重篤な合併症を有する患者さんが増えています。また、院内急変など集中治療を要する患者さんも入室しています。

人工呼吸、血液浄化、経皮的心肺補助等の生命維持装置を用いた特殊治療も数多く行っており、最近では NPPV(非侵襲的人工呼吸)を積極的に導入しています。集中治療センターでは、このような重篤な患者さんの治療にあたっており、重症患者治療の「最後の砦」とみなされています。

※なお、診療棟 4 階に隣接した救命 ICU エリア(10 床)があり、こちらは主に院外から搬送(三次救急)された重症の救急患者を治療対象としています。

5. 2026 年度目標

- (1) 救急部等の院内関係部署との連携を図りつつ、さらなる効率的運営に努めます。
- (2) 新しい治療の知見を収集し、より洗練された集中治療環境の構築を図ります。
- (3) 医師、看護師等の資格取得を推進し、スーパーICU としての運営体制の強化、拡充を図ります。

6. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 矢野雅起、土手健太郎、高柳友貴. 続・日本の集中治療の源流～集中治療事始め、守屋博の研究. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会. 福岡 (2025.3.14-16)
2. 上松敬吾、中西和雄、高柳友貴、矢野雅起、藤谷太郎. 食道癌粒子線治療後の左気管支食道瘻、急性呼吸不全に対し、右用 double-lumen tube で呼吸管理を行った一例. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会. 福岡 (2025.3.14-16)
3. 高柳友貴、藤谷太郎、矢野雅起、土手健太郎. 当院 ICU における早期離床・リハビリテーションの中断原因. 第 52 回日本集中治療医学会学術集会. 福岡 (2025.3.14-16)
4. 矢野雅起、高柳友貴、中西和雄、土手健太郎. 溶血連鎖球菌感染症による壊死性筋膜炎の一例. 日本集中治療医学会第 9 回中国・四国支部学術集会. 徳島 (2025.7.19)